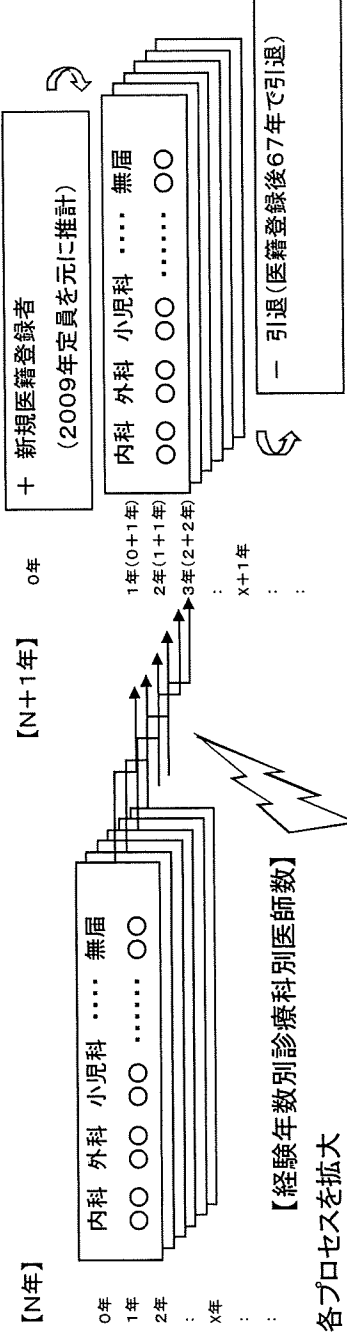


各年次別の一年後にどの診療科(含む無届)になるかの移動確率(生命表に相当)を、経験年数別・診療科別医師数に順次掛け合わせ、将来推計を行う。



N年
経験年数x年の医師の診療科分布

内科	外科	小児科	無届
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

N+1年:
経験年数x+1年における診療科分布を過去の移動確率から推計

内科	外科	小児科	無届
〇〇	〇〇	〇〇	〇〇

2004年—2006年の移動状況から求めた医籍登録後経過年数別・診療科間移動確率
⇒ 経過年数別移動確率は、今後も変わらないとして将来推計に利用(生命表の原理)

n+1年の診療科

内科	外科	小児科	産婦人科	無届
〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
内科	外科	小児科	産婦人科	無届
〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%
内科	外科	小児科	産婦人科	無届
〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%	〇〇%

図1 多相生命表の原理を用いた医師数の将来推計の原理について

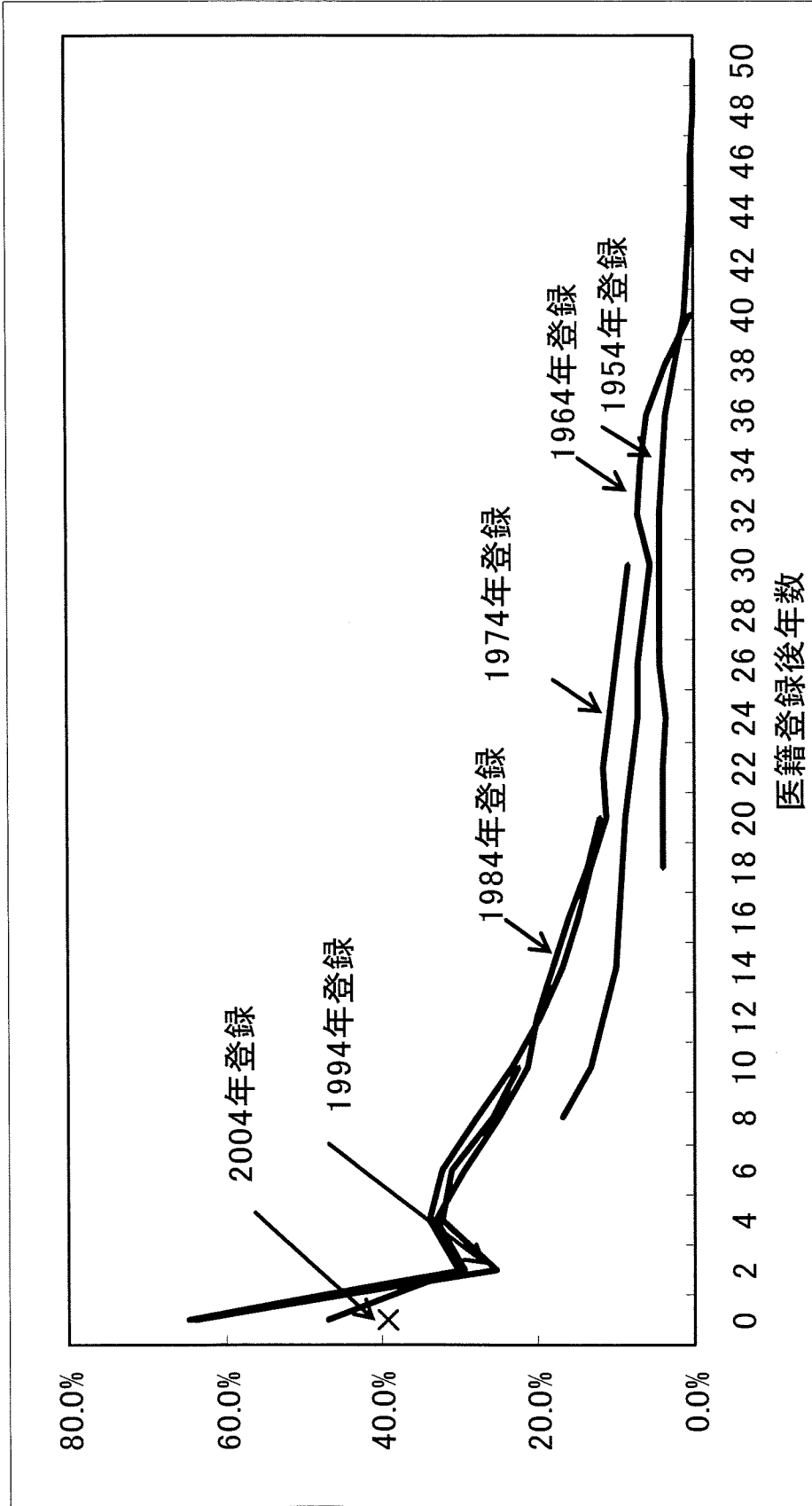


図 2-1 医育機関勤務割合

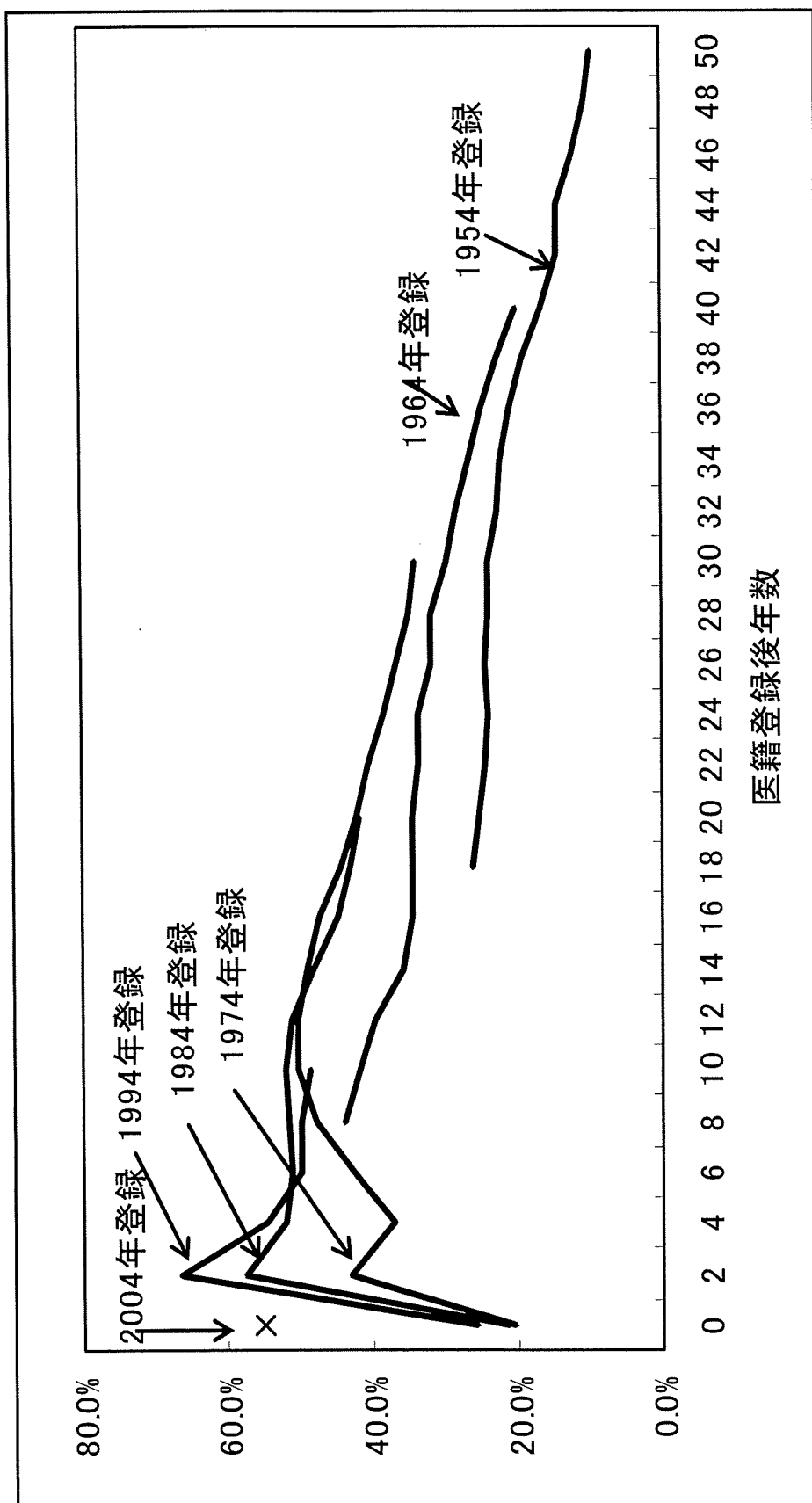


図 2-2 医育機関以外の病院勤務割合

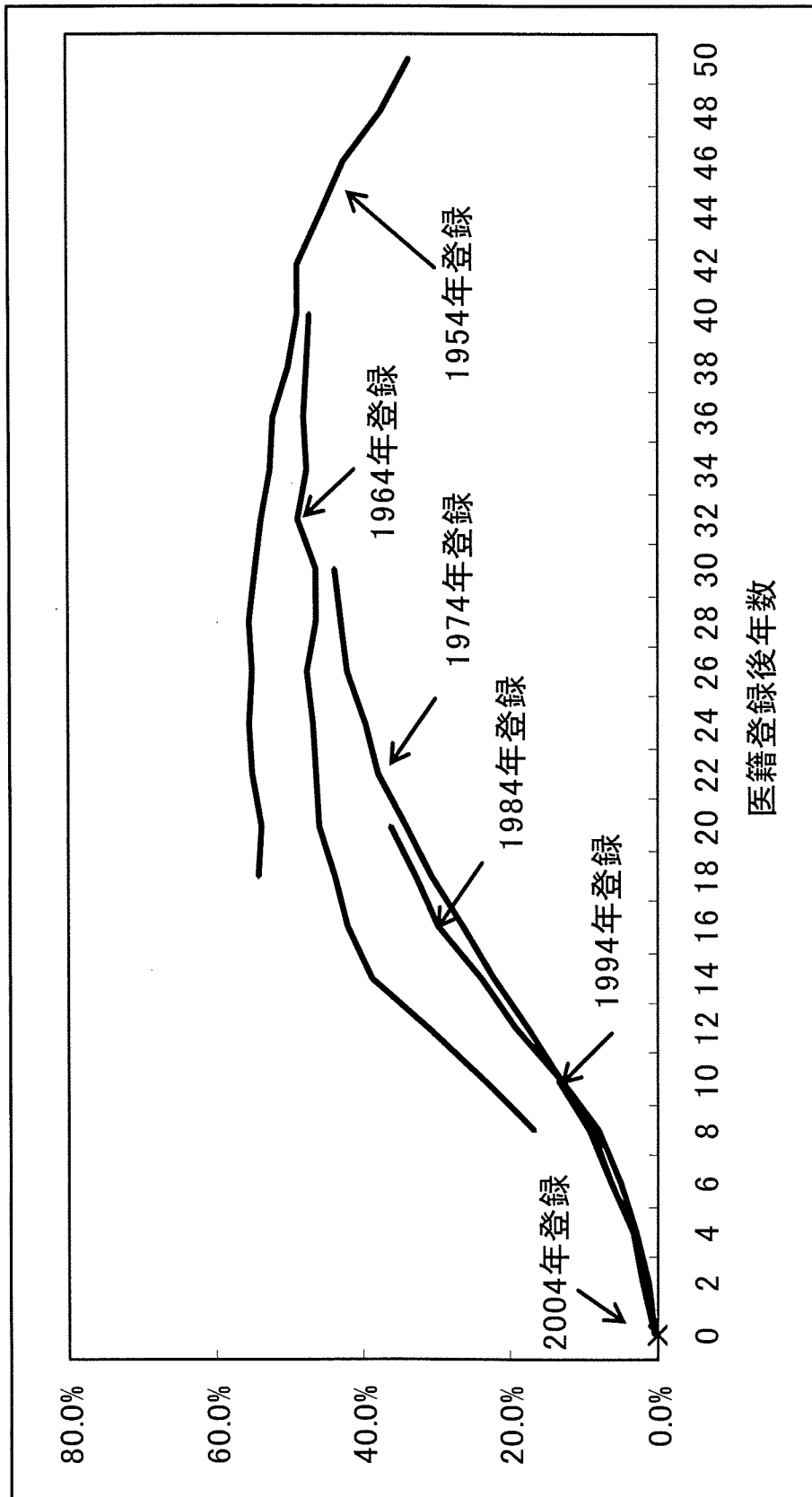


図 2-3 診療所勤務割合

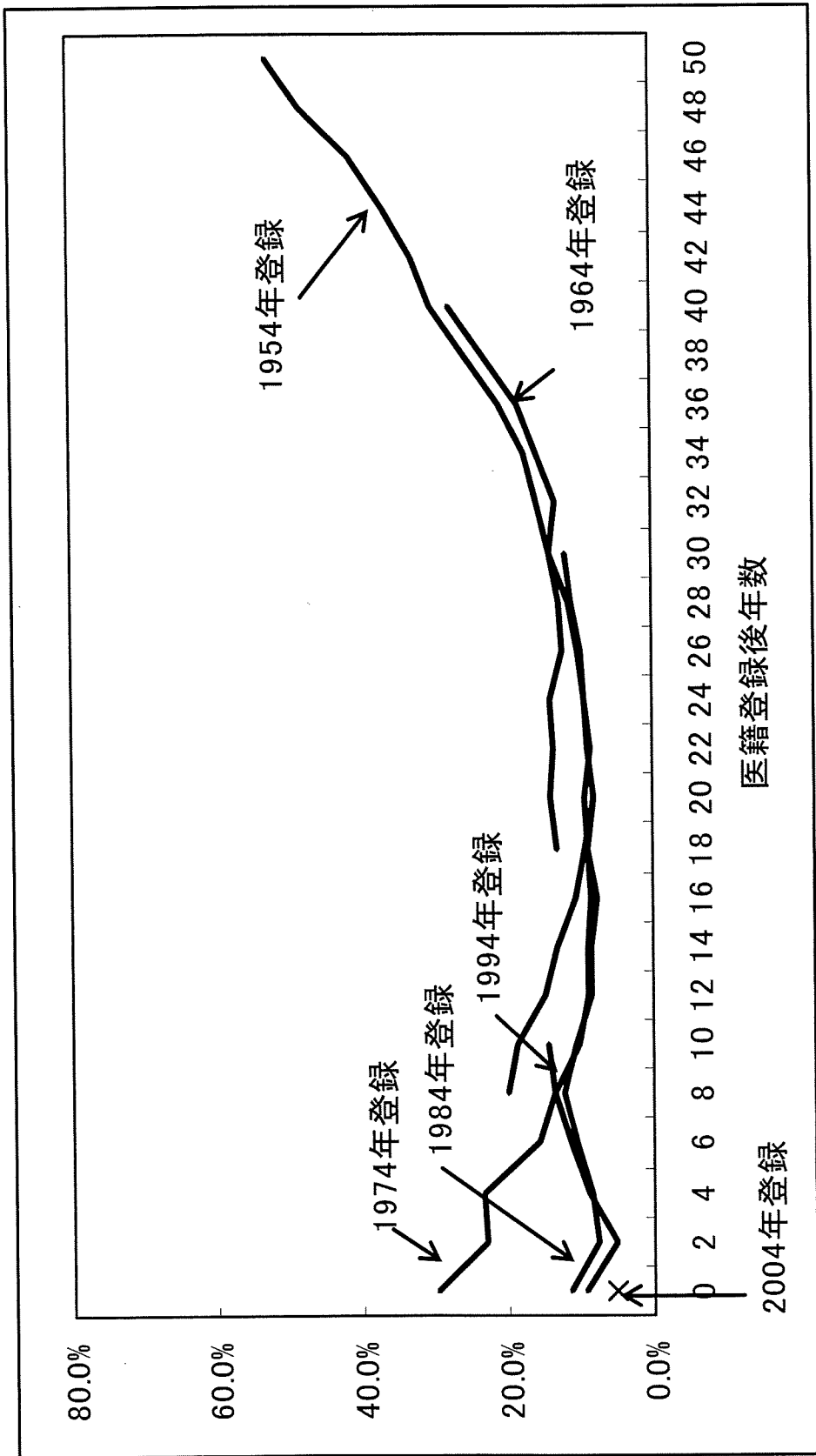


図 2-4 無届割合

1992-1994年間の医師の勤務

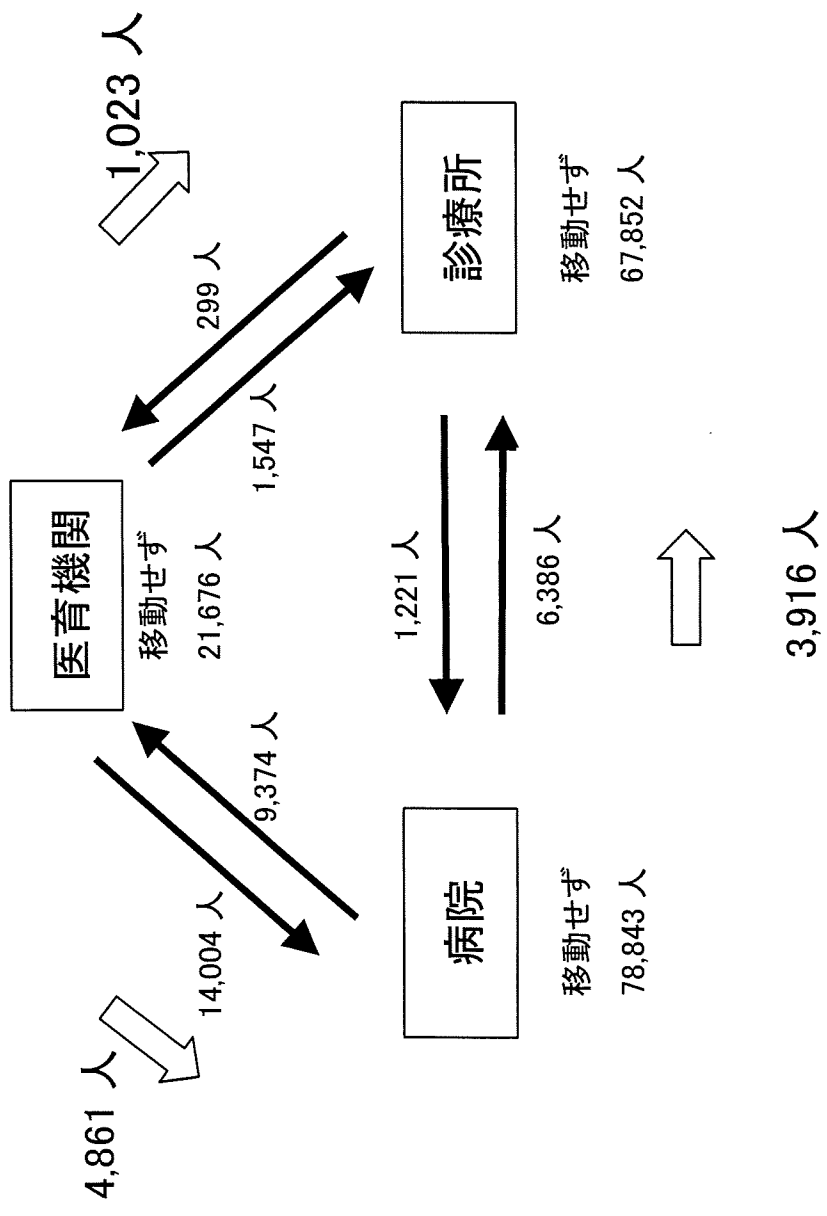


図3 勤務の種別に着目した2年間の医師の異動状況（新規医籍登録医師を除く）（1992-1994年間）

2002-2004年間の医師の勤務

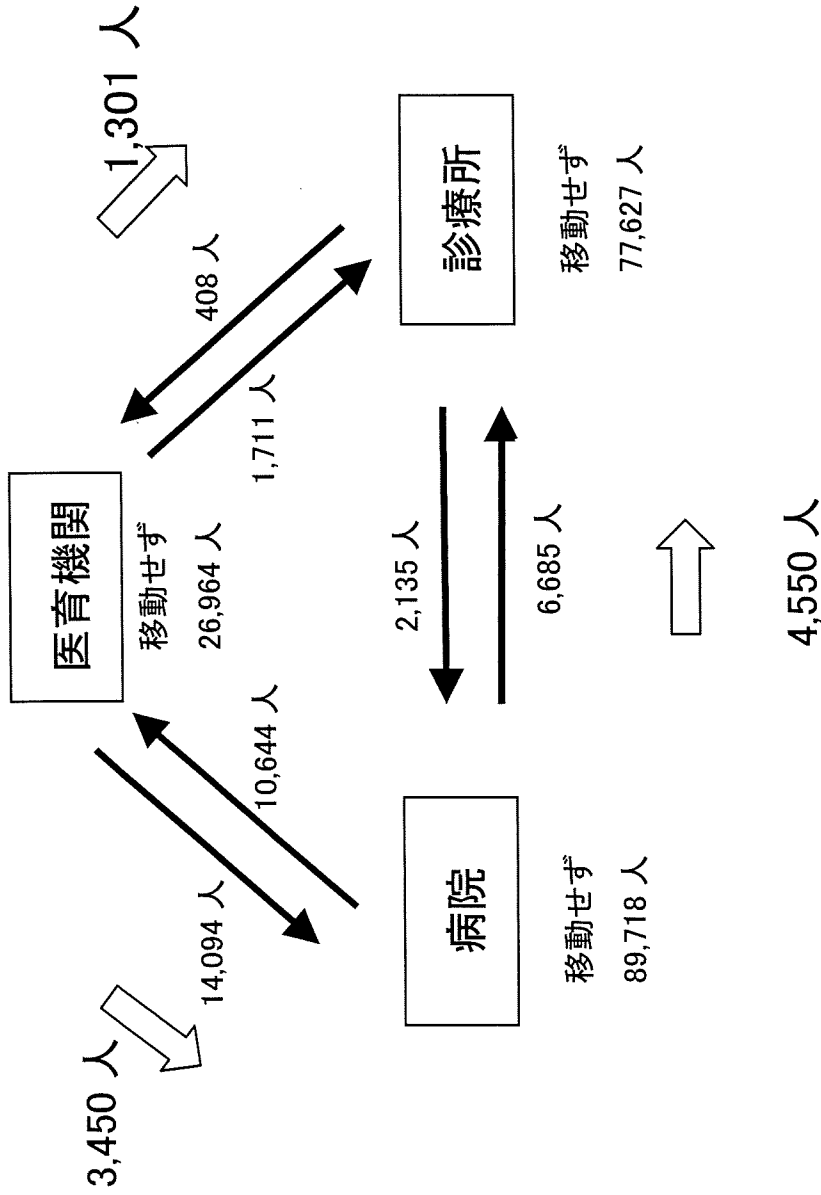


図3 勤務の種別に着目した2年間の医師の異動状況（新規医籍登録医師を除く）（2002-2004年間）

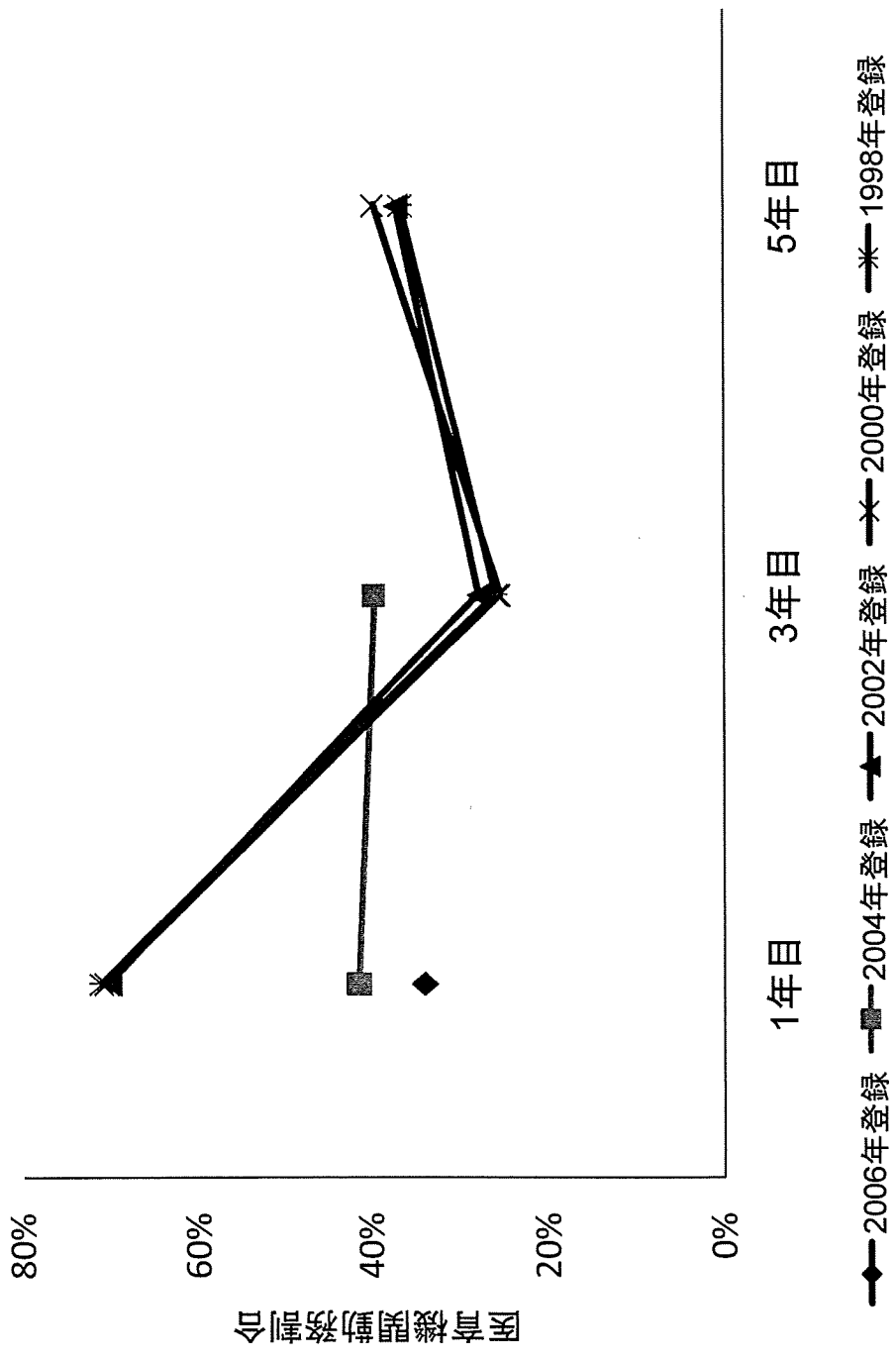


図4 医籍登録後年数と医育機関勤務者割合

1976年医育機関からキャリアを開始(n=2,264)

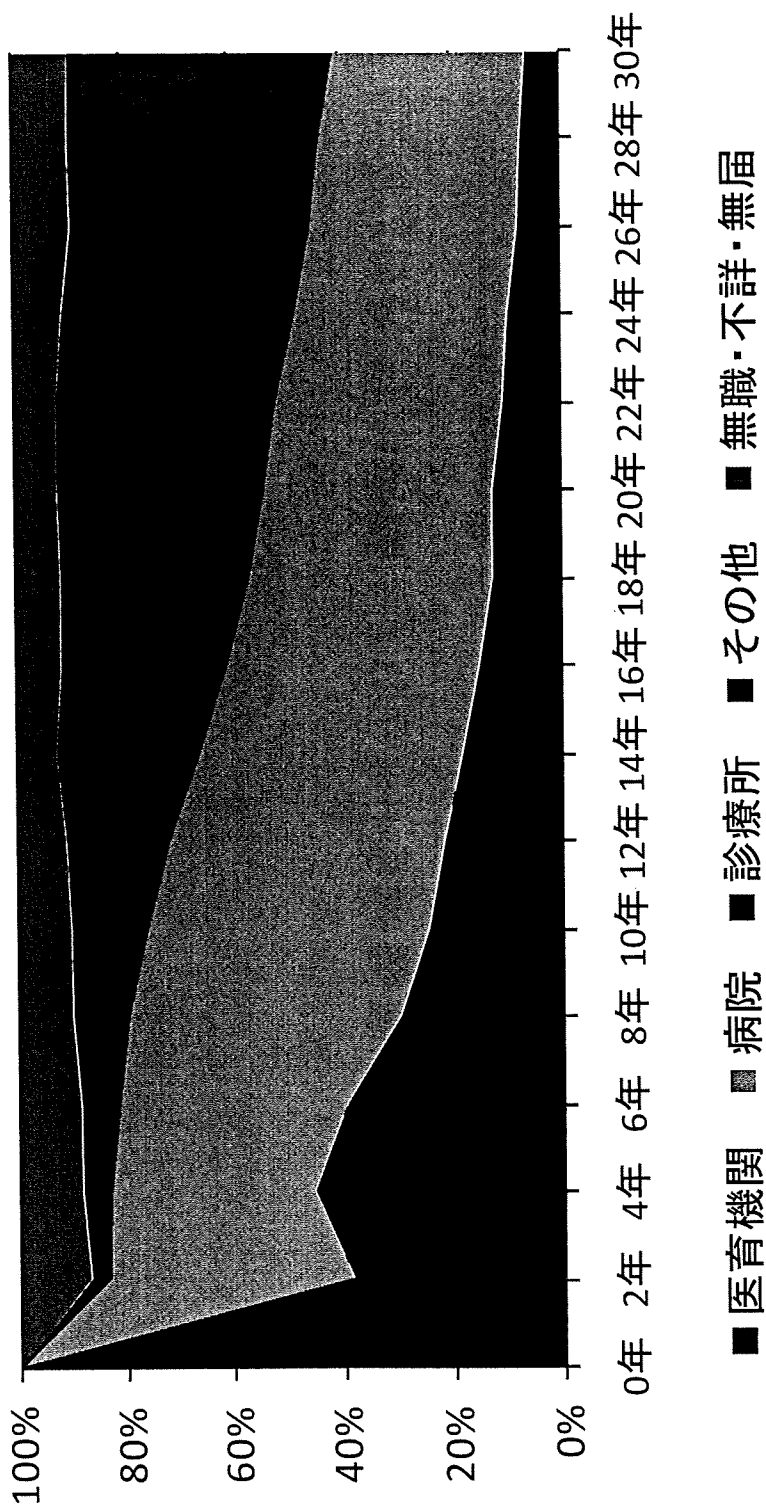


図 5-1 1976年医籍登録者のキャリア (医育機関からキャリアを開始)

1976年病院からキャリアを開始(n=1,005)

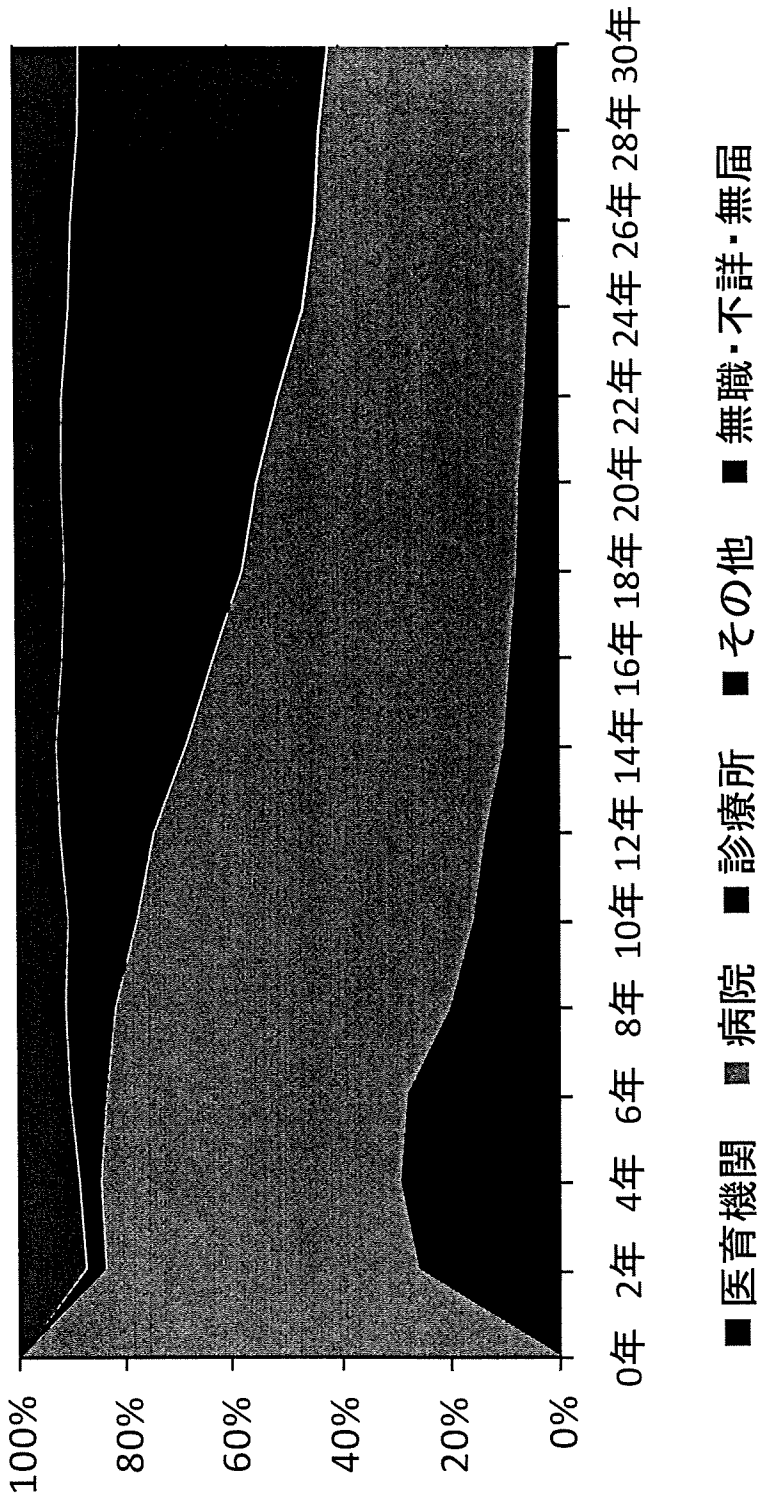


図 5-1 1976年医籍登録者のキャリア (病院からキャリアを開始)

1986年医育機関からキャリアを開始(n=5,009)

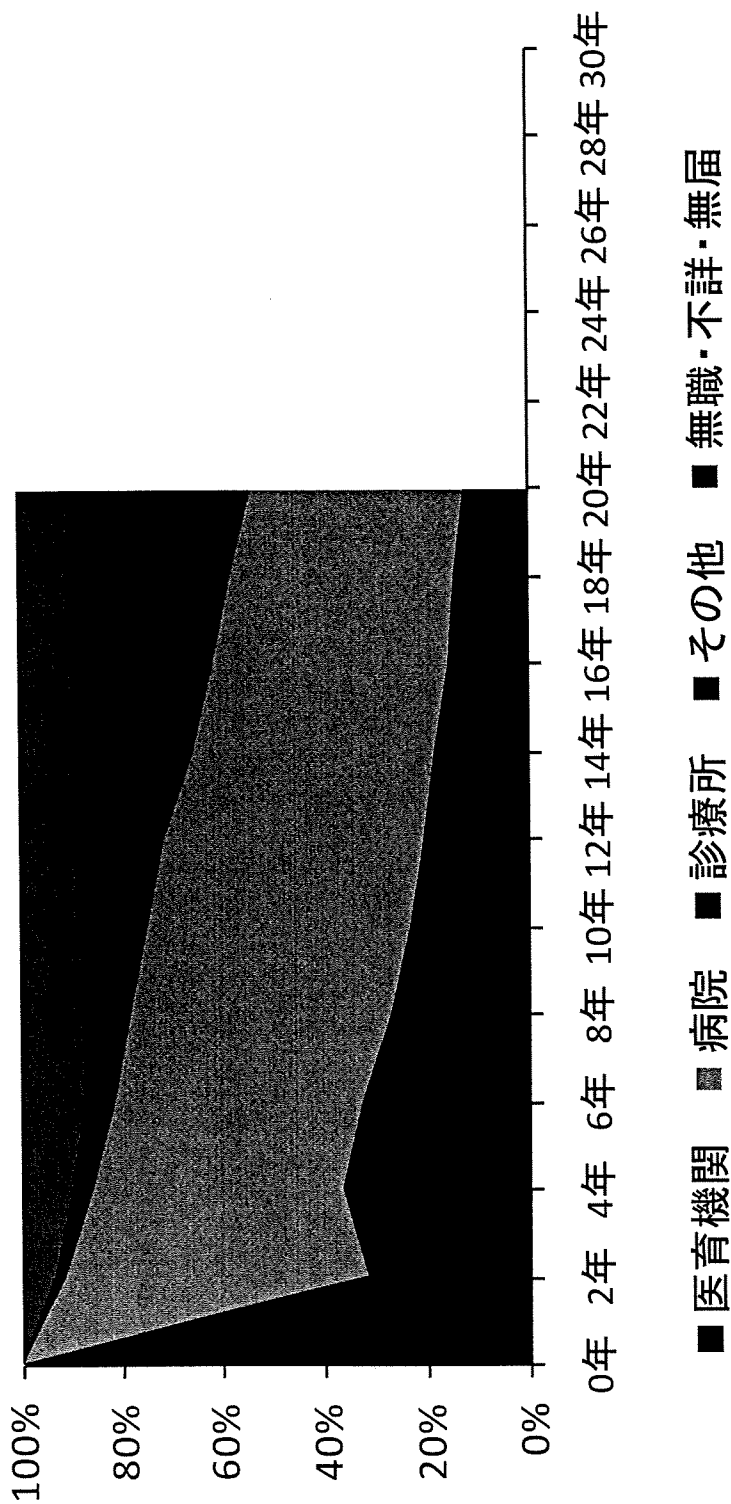


図 5-2 1986年医籍登録者のキャリア (医育機関からキャリアを開始)

1986年病院からキャリアを開始(n=1,969)

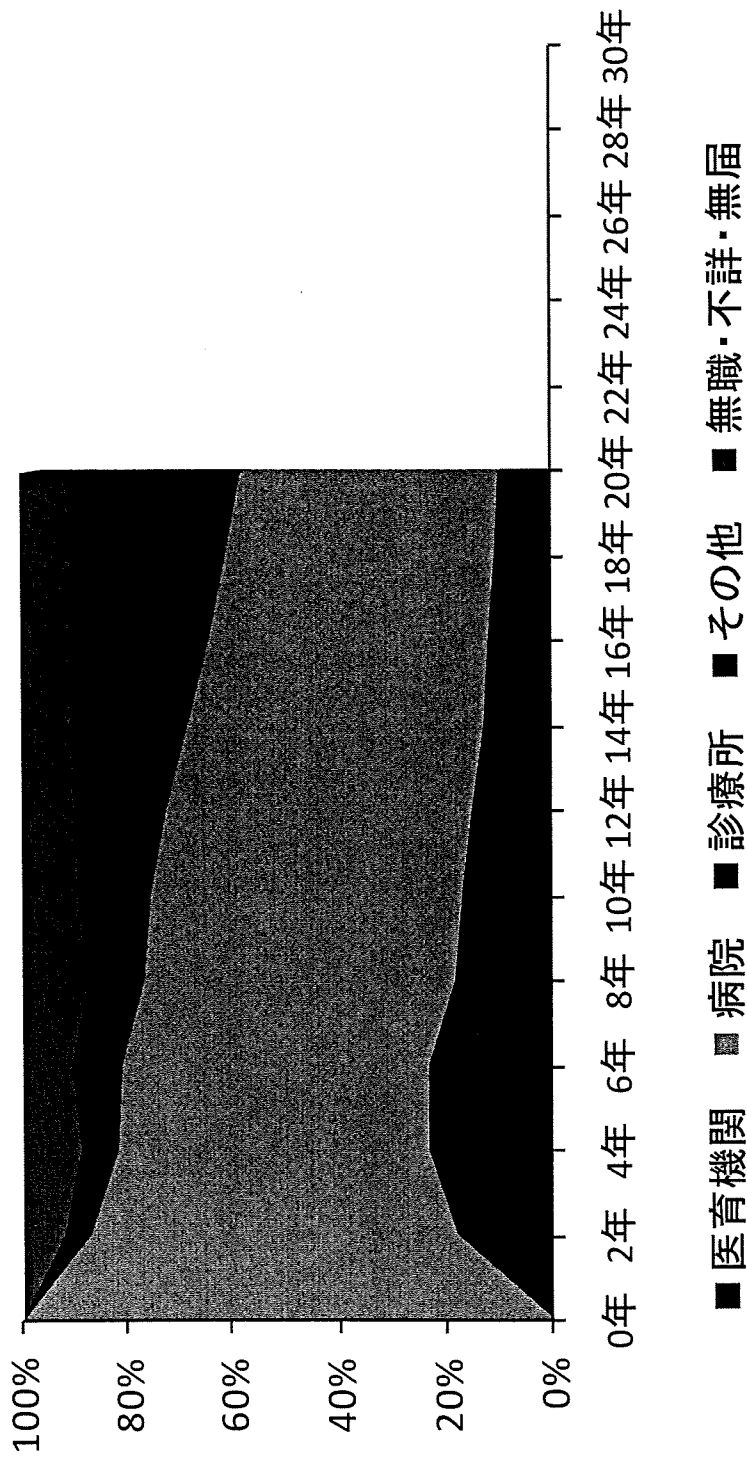


図 5-2 1986年医籍登録者のキャリア (病院からキャリアを開始)

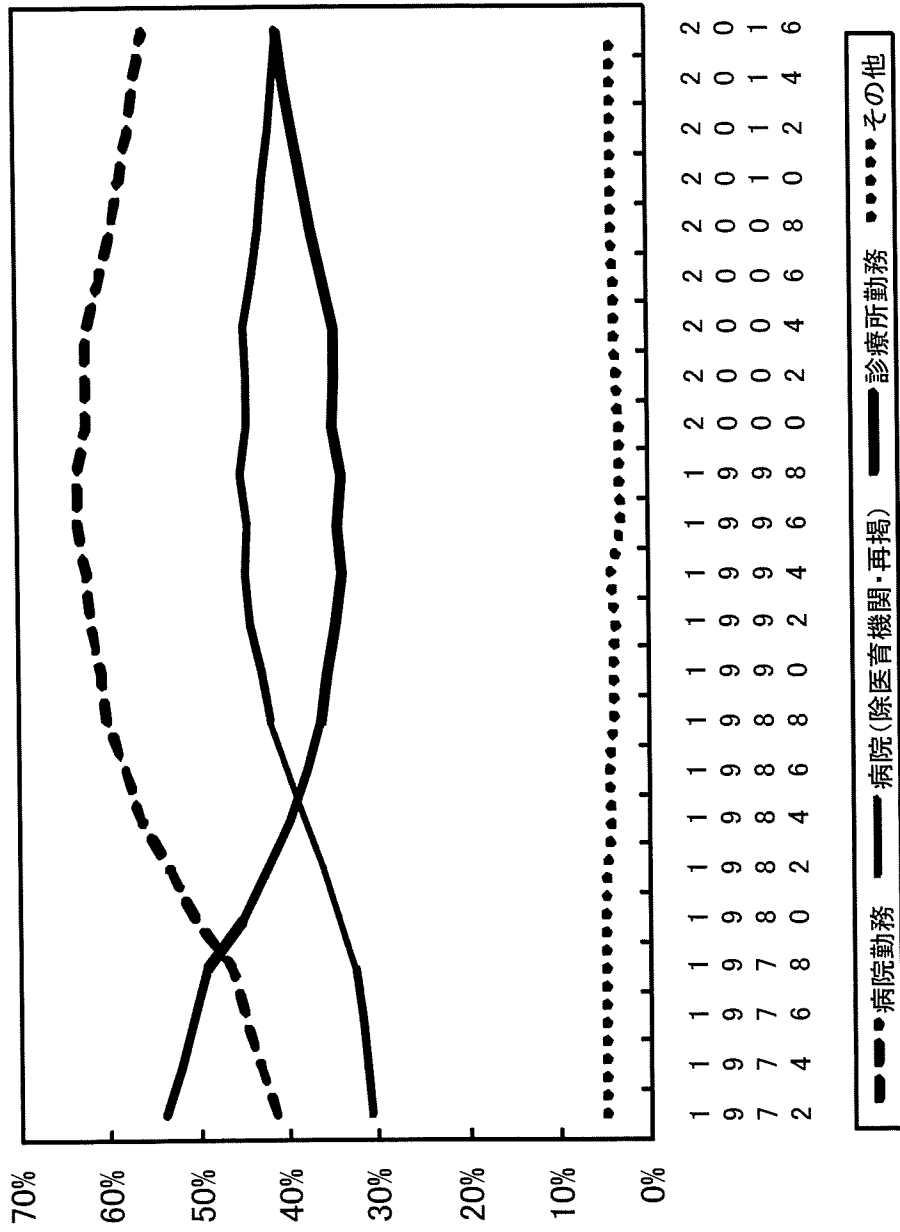


図6 医師の勤務先の構成割合の変化

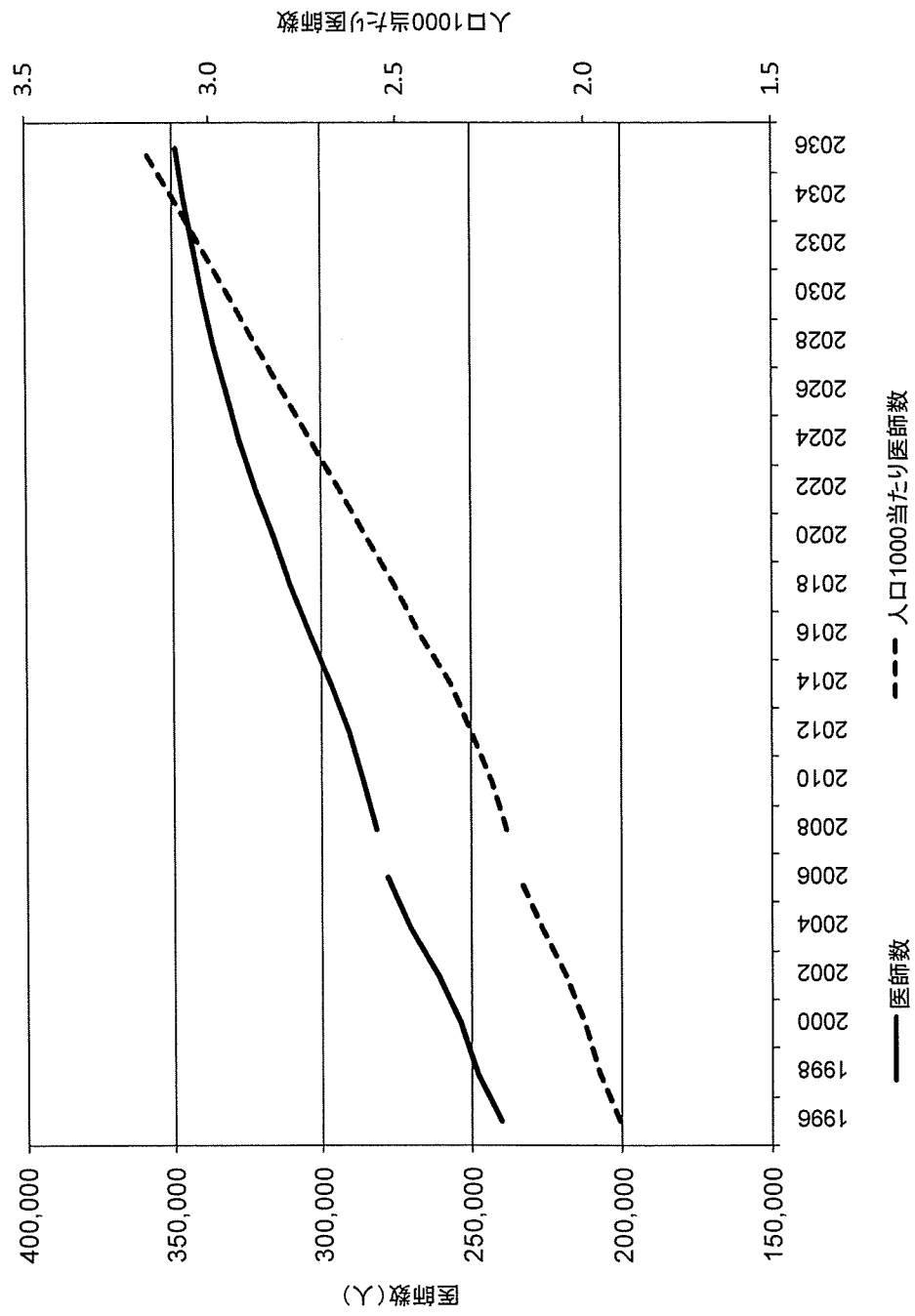


図7 医師数及び人口当たり医師数 (1996-2006実績, 2008-2036推計)

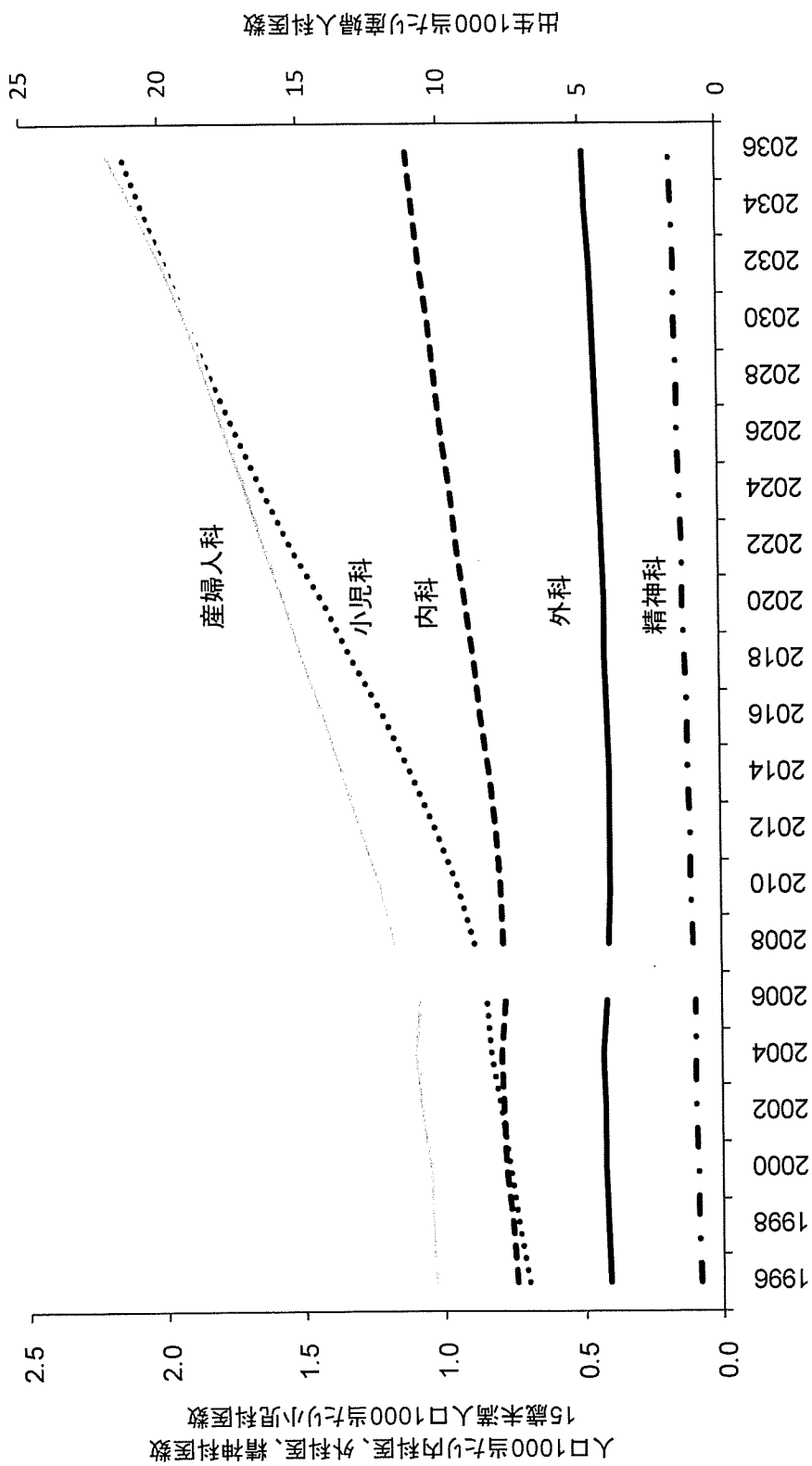


図8 診療科別人口当たり医師数 (1996-2006 実績, 2008-2036 推計)

全診療科

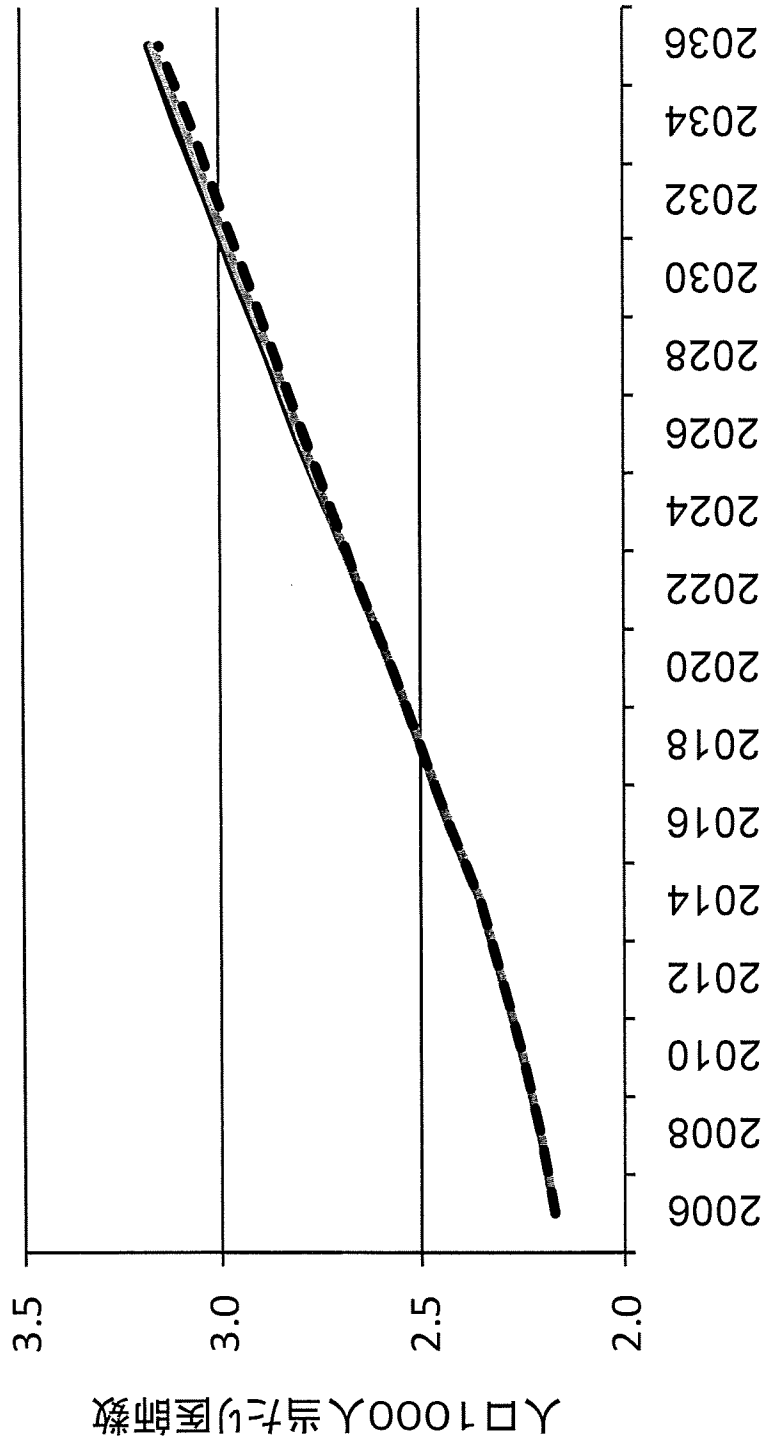


図 6 女性医師割合の変化と診療科別医師数の推計（全診療科）

図表再掲

外科

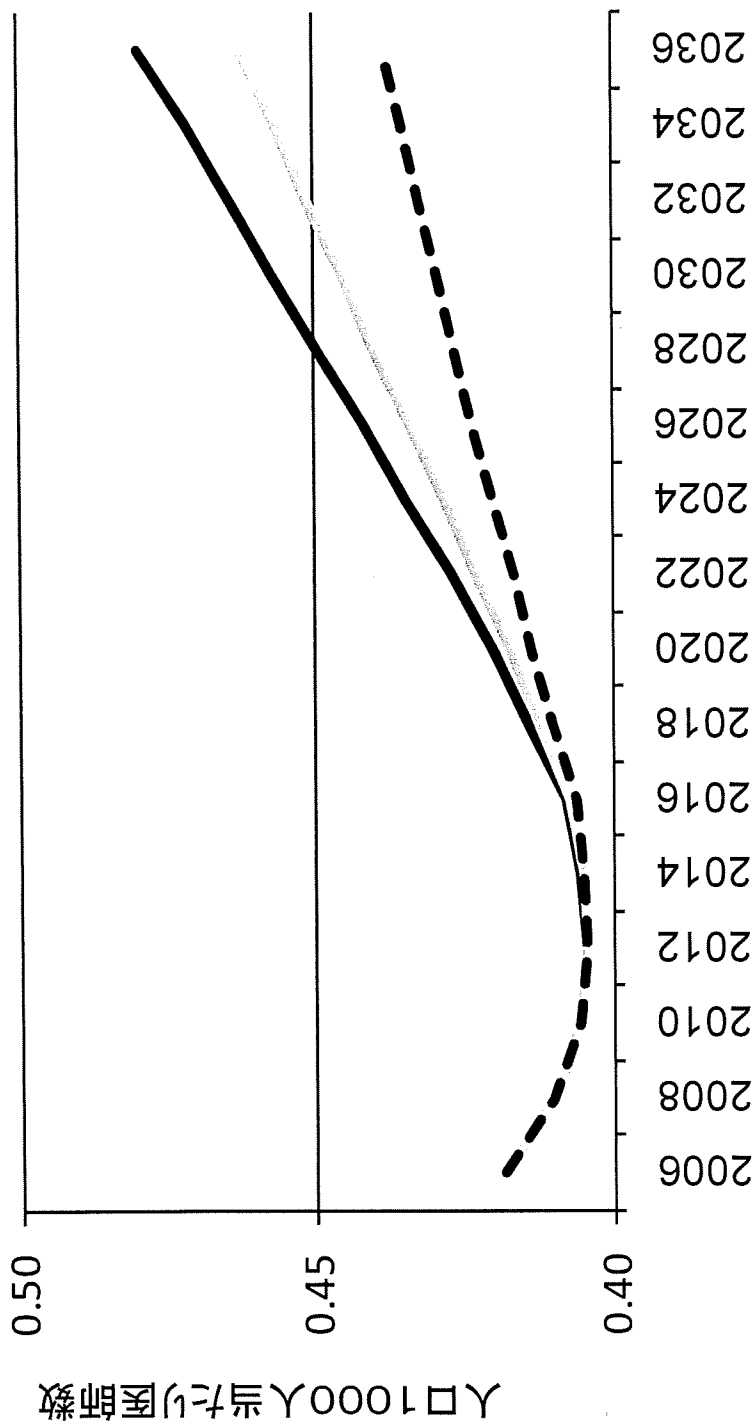


図 9 女性医師割合の変化と診療科別医師数の推計 (外科)

小児科

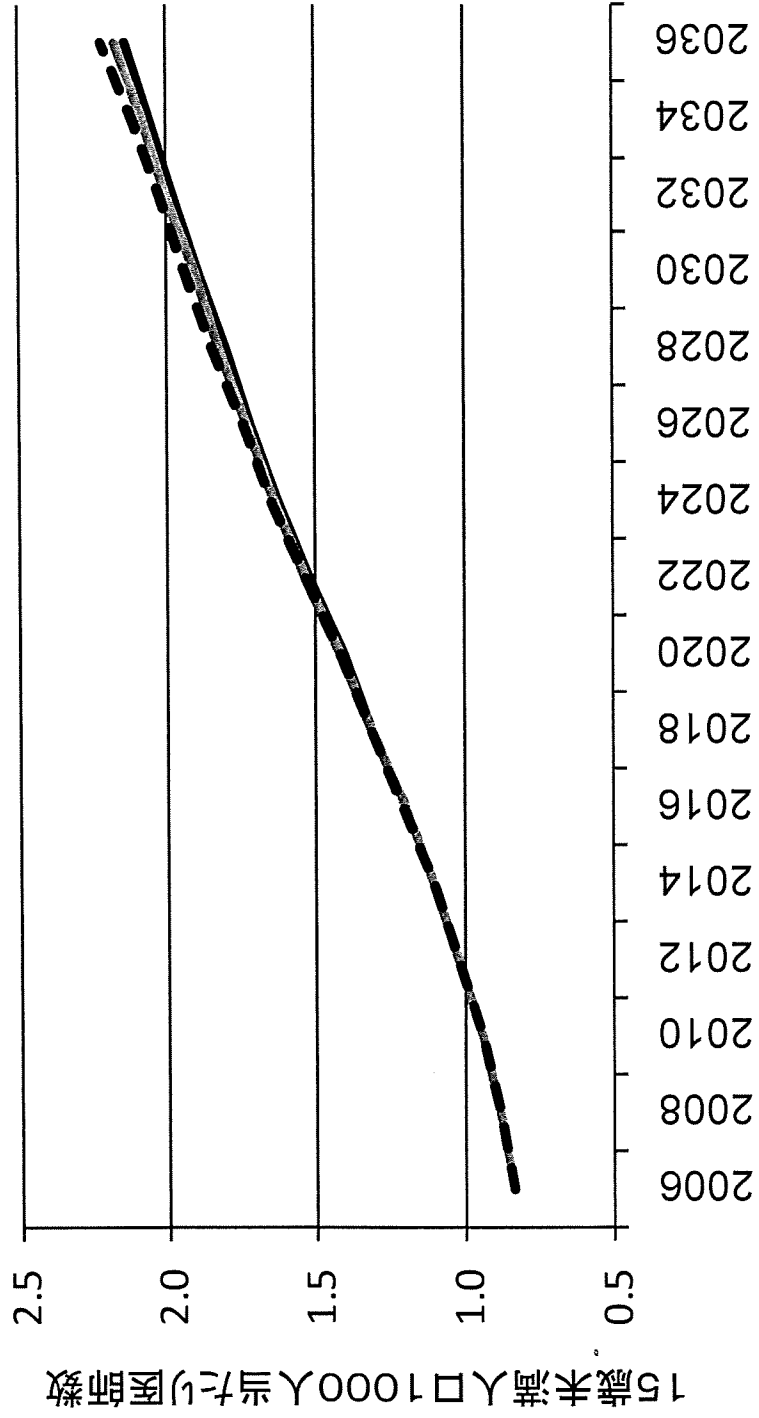


図9 女性医師割合の変化と診療科別医師数の推計（小児科）

産婦人科

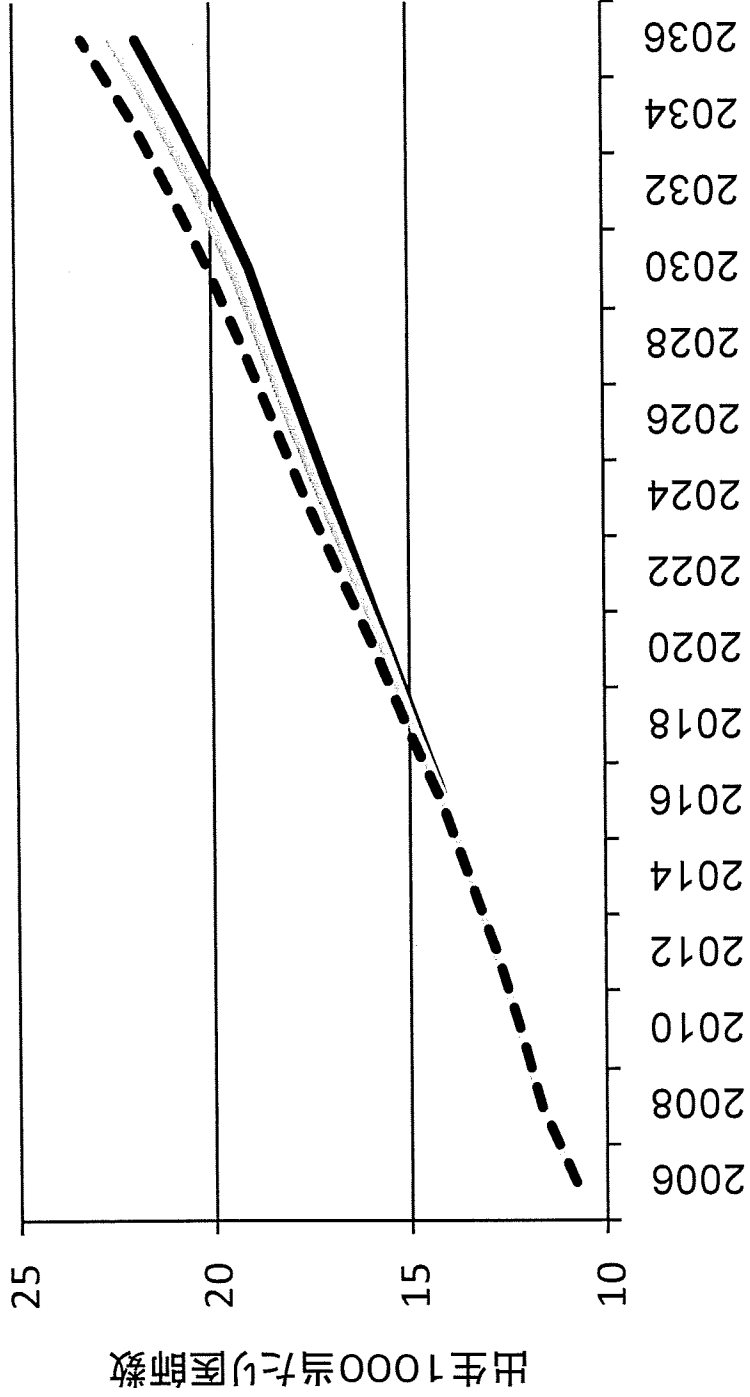


図 9 女性医師割合の変化と診療科別医師数の推計 (産婦人科)

内科

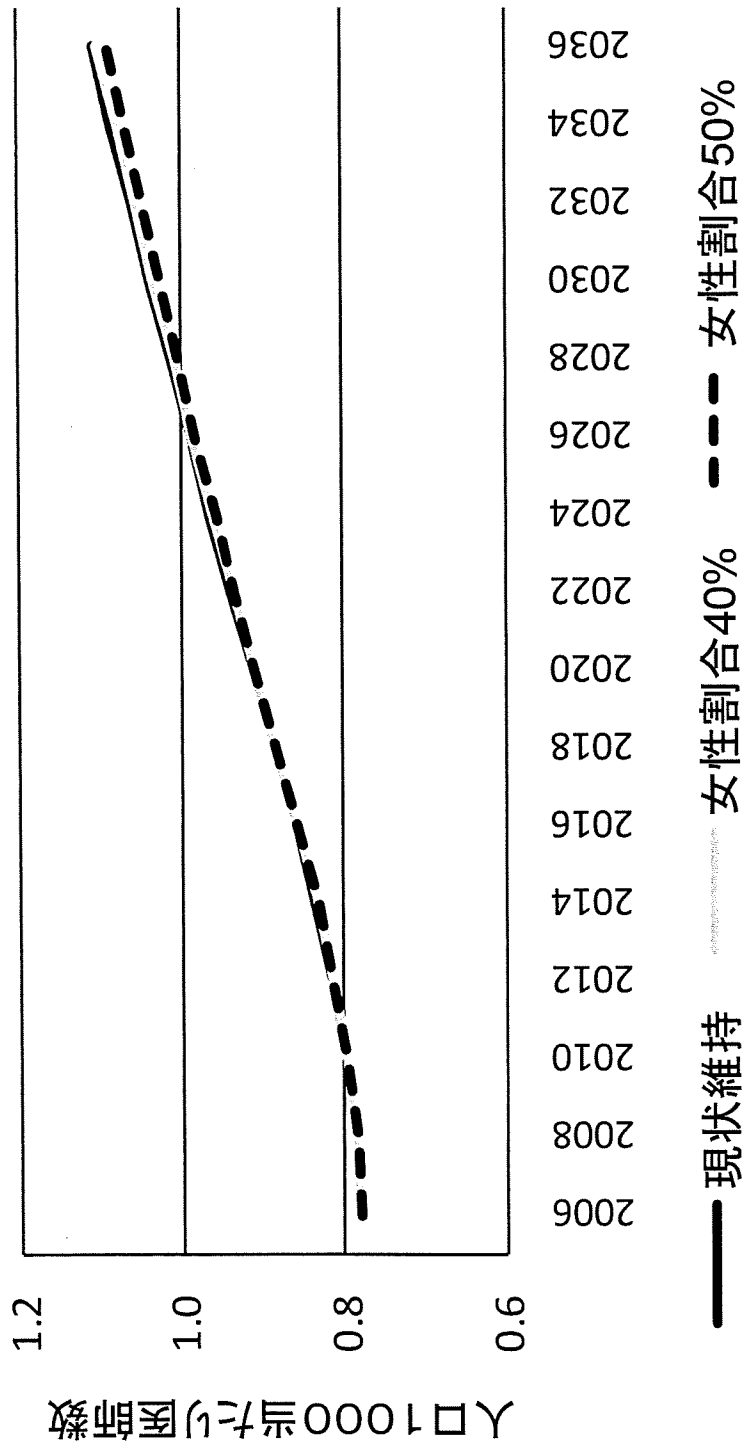


図9 女性医師割合の変化と診療科別医師数の推計 (内科)